

公募審査（採択）結果の公表

令和7年5月20日
資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギーシステム課

令和7年度「再生可能エネルギー導入拡大・系統用蓄電池等電力貯蔵システム導入支援事業費補助金」の補助事業者の選定の公募審査結果

（採択事業者）

事業者名	法人番号	提案価格
一般社団法人環境共創イニシアチブ	1010005016502	5,000,000千円

（提案事業者名）

①一般社団法人環境共創イニシアチブ

（審査委員属性）

学識有識者
研究機関職員A
研究機関職員B
研究機関職員C
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

（採点結果）

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	委員D	合計
一般社団法人環境共創イニシアチブ	19	19	15	19	72

提案事業者名	提案内容が本事業の目的に合致しているか。	事業の実施方法、実施スケジュールが現実的か。	事業を遂行するための資力、資金調達能力を有しているか。	事業の実施方法等について、本事業の成果を高めるための効果的な工夫が見られるか。	本事業の関連分野に関する知見を有しているか。	事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。また、必要となる経費・費目を過不足無く考慮し、適正な積算が行われているか。	事業全体の企画及び立案並びに根幹に関わる執行管理部分（以下）について、委託・外注を行っていないか。	業務管理費に対する委託・外注費の額の合計の割合が50%を超えていないか。超えている場合は、相当な理由があるか。	賃上げの取組をしているか。	ワーク・ライフ・バランスの取組をしているか。	合計
一般社団法人環境共創イニシアチブ	8	6	8	5	7	8	6	8	8	8	0	72

（評価コメント）

提案事業者名	コメント
一般社団法人環境共創イニシアチブ	<p>知見、体制ともに有しており、実施できると評価する。水素の利用先の探索に協力する方針もよい。蓄電池システムに関しても、課題を聞き取りして、指導を願いたい。過去の実績等踏まえ、実施体制等特に懸念は感じられない。実施にあたっての工夫についてはさらに具体性を要する点が求められる。</p> <p>系統の空き容量がある適地への系統用蓄電池の導入を誘導することも考慮することは評価できる。具体的な方策の提示が無かったが、需要のウェルカムゾーンマップとあわせて、各一般送配電事業者が公表している、系統混雑が見通される変電所一覧等を参考情報として公表するなど工夫を行うことが望まれる。</p> <p>補助金申請者が十分な準備期間を確保するため、予告期間は最低限とし、公募期間を長くした方がよいのではないかと。これまでの実績や現行予定されている市場、余力活用契約等を踏まえ、蓄電池システムのユースケースと市場要件に従い具備すべき機能を示すことが、補助金執行団体として設備導入を推進する上で必要ではないかと。また、過去の補助事業の採択状況等を踏まえ、申請者は補助金執行団体として、本申請前（該当補助金事業期間終了時等）に業界ヒアリングや申請者機関の社員（企業/団体）へのヒアリングを行い、水電解装置導入申請における課題抽出と、その内容を踏まえた公募内容（申請/交付要件）の見直しを行うべきである。</p> <p>本事業に対する理解、実施に対する体制、スケジュール構築などが適切に行われている。また、水電解装置の申請がほぼないため、ガス協会にヒアリングするなど、今後の事業化に期待できるような案件の採択を期待する。</p>